

問題トナリ居リタル東支広信公司互恵契約ノ締結ハ之ヲ中止スルコトナリ同時ニ却テ広信公司取扱貨物（呼海線經由ノモノト共ニ東支線經由ノモノヲモ含ム）ノ南行ニ関シ満鉄側広信公司間ニ一ノ諒解ノ成立ヲ見ルニ至リ斯クノ如クニシテ本問題ハ客月末ヲ以テ解決ヲ告ケタリ

四、広信公司取扱貨物ノ南行ニ関シ満鉄側ト広信公司間ニ成立セル諒解ノ内容

東支広信公司間ニ進行中ナリシ互恵契約ニ対スル満鉄側ノ態度ハ最初ハ之カ成立ヲ阻止スルニ止ムル考ナリシカ阻止運動ノ進行スルト共ニ問題ハ満鉄ニ有利ニ展開シ其結果東支広信公司互恵契約ノ成立ヲ阻止シタル上広信公司取扱貨物ノ南行ニ関シ満鉄側ト広信公司間ニ却テ一ノ諒解ノ成立ヲ見ルニ至レリ右諒解ノ内容ハ左ノ如シ

- (一)、広信公司ノ南行貨物（呼海經由輸出ノモノナルノミナラス広信公司取扱貨物全部ヲ含ム）ニ対シテハ國際運送ニ於テ一定ノ運賃割戻ヲ為スコト
- （原註）
註、満鉄ヨリ割戻シヲ為スコトハ差支アルニ付國際運送ヲシテ割戻サシメ國際運送ニ対シテハ満鉄ヨリ何カノ名義ノ下ニ之ヲ補償スルコトトセリ

解ノ結果

本諒解ノ結果満鉄側即チ國際運送カ幾許ノ運賃割戻ヲ為スヤハ明ナラサルモ惟フニ右割戻ニシテ広信公司ヲ満足セシムルニ足ラサルトキハ支那側ノコト故何トカ口実ヲ設ケ満鉄ノ希望通りニ南行ヲ実行セサルヘク若シ右割戻カ広信公司ニ有利ナルトキハ同公司ハ今後其ノ取扱貨物ハ勿論他支那商ノ貨物ノ輸送ヲモ引受ケ之ヲ同公司名義ニテ發送スルニ至ルヘキコト疑ナカルヘク其結果邦商同業者ハ支那商ヨリモ不利ノ地位ニ立タサルヘカラサルコトナルハ甚タ遺憾トスル所ナリ

哈爾賓ニ於テ満鉄側ヲ代表シ支那側ト折衝ノ任ニ当レル酒井参事ハ右諒解成立後洮昂線經由帰連ノ途次客月末当地ニ立寄タルニ付小官ハ同人ニ対シ前記ノ次第ヲ述ヘ此際邦人同業者ヲ支那商ヨリモ不利ノ地位ニ置カサル様満鉄ニ於テ相当考慮ヲ払フノ必要アルヘシト申聞ケタル処同人ハ其点ニ付テハ本社ニ於テモ充分考慮ヲ払ヒ何トカ方法ヲ講スル積リナリト答ヘ居タリ

六、南行貨物諒解内容漏洩防止ニ対スル満鉄側ノ注意
本諒解ノ内容カ世間ニ漏ルトキハ東支側ハ勿論邦人側ヨ

- (二)、右諒解ノ有効期間ハ差当リ明年一月末迄トス
（原註）
註、満鉄側ニ於テハ広信公司ヲシテ南行ノ有利ナルコトヲ知ラシメ遂ニハ割戻ナクトモ南行ヲ選フニ至ル様ニ導ク方針ニシテ差当リ割戻諒解ハ特産物ノ出廻期タル一月末迄トセルモノナリ

(三)、本諒解ハ双方各其ノ相手方ノ誠意ニ信頼シ書面ニ認メサルコト

（原註）
註、此種諒解ハ支那側ノコト故東支側ニ筒按ニ漏ルルモノナレハ書面ニ認メサルヲ便トセルモノナリ
尚ホ満鉄側ニ於テハ國際運送ト広信公司トノ連絡ヲ円滑ナラシムルタメニ必要ナリトノ理由ノ下ニ將來呼海沿線各主要駅ニ置カルヘキ転運公司（広信公司系運送会社）ノ事務所内ニ國際運送ノ店員各一名ヲ派遣シ呼海沿線ニ於ケル東行貨物ヲ調査スルト共ニ南行貨物ノ吸収ニ当ラシムル考ナリ

次ニ客月二日付小官発在哈爾賓天羽總領事宛公領機密第四三号中記載ノ張總弁ニ対スル謝礼金ニ付テハ遣ルトモ遣ラヌトモ未タ何等決定スル所ナシトノコトナリ

五、満鉄側ト広信公司間ニ成立セル南行貨物ニ関スル諒

リモ非難ヲ招クヘキニ付其ノ内容ハ之ヲ絶対極秘トナシ一切外間ニ洩ササルコトニ満鉄関係者間ニ於テ取極メタル由ナル処小官ニ対シテハ小官カ早川公所長ノ希望ニ依リ東支広信公司互恵契約ニ対スル満鉄側ノ希望（即チ満鉄側ノ希望ハ「殊更ニ一定ノ數量ヲ東行セシムルカ如キ契約ヲ為スコトナク呼海ノ貨物ハ東行スルトモ南行スルトモ自然ノ儘ニ委スコトニセラレタシ」トノ意ナリキ）ヲ吳督軍（吳督軍ノ出奉前）ニ取次キタル（但シ小官ハ對露關係ヲ考慮シ深入リハ之ヲ避ケタリ）關係上小官ニハ秘シ能ハサルヨリ例外トシテ關係者一同ノ同意ヲ得テ早川公所長ヨリ本件諒解内容ノ要点ヲ小官ニ内話セルモノナリ右御含ミノ上本件諒解極秘ニ御取扱相願度シ
右報告ス

本信写送付先 在露大使、在支公使、奉天、哈爾賓總領事

(5) 打通鐵道關係

一〇九〇 八月二十日（着） 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛（電報）

打通鐵道ノ工事進捗状況報告及ビ奉天官憲ニ

対スル嚴重抗議ニツキ請訓ノ件

付 記

八月十九日付安広満鉄社長發東京支社長宛電報
打通鐵道ノ工事進捗状況及ビコレニ対スル抗議
ノ件

第二四一号

京奉線ノ山田技師ノ報告ニ拠レハ京奉線打虎山駅ヨリ新立屯間鐵道ハ既ニ敷設シ終リ新立屯ヨリ彰武ニ向ッテ七哩土工ヲ終リ残余ノ約二十八哩ヲ本月ヨリ人夫約五百名ヲ以テ工事ヲ急キ居リ彰武、白音太拉間測量既ニ終リ溝帮子、奉天間ノ線路約百八十哩六十磅「レール」ヲ八十五磅「レール」ニ改修終リ次第白音太拉迄京奉線不要ノ六十磅「レール」ヲ以テ敷設スル計画ナリ

右ハ昨年九月十三日鐵道公報ヲ以テ發表シ居ル趣ナルカ右計画ニシテ実施セラルルニ於テハ打虎山、白音太拉線ト奉天、四平街南滿線トハ平均七十哩ノ間隔ヲ有スル平行線ノ形ヲナシ從テ北京會議録中日支間ノ諒解タル滿鉄平行線タルノ事實明ニシテ帝國政府ノ諒解ナクシテハ敷設スヘカサルモノニ屬スヘク今ニ於テ奉天官憲ニ対シ嚴重抗議ヲ致

居レル等ノコトニ鑑ミ急進ノ問題ト思惟セサリシカ故ニ積極的ニ抗議又ハ警告ハ之ヲ為ササリシ次第ナリ然ルニ最近ハ前段ノ如ク延長線ノ建設ニ着手シ漸次北方ニ延ヒントスルノ形勢顯著トナリシカ故ニ先般大藏理事ヲシテ吉田總領事ト同問題ニ就テ協議セシメ總領事ヨリ一応奉天官憲ニ書面ヲ以テ真相ヲ照会シ其ノ結果ニヨリ外務省ヲ經テ抗議又ハ警告ノ措置ニ出ツルコトニ打合ヲ了セリ又最近京奉局カ測量ノ為人員ヲ洮南ニ派遣ストノ情報ニ接シタルモ右ハ果シテ洮南、通遼線ノ為カ或ハ索倫線ノ為ナルカ未タ判明セズ目下關係事項取調中判明次第更メテ答申スヘシ

一〇九一 八月二十五日

幣原外務大臣ヨリ
在奉天吉田總領事宛（電報）

滿鉄並行線ノ計画中止方張作霖ニ申入レルヨ

ウ訓令ノ件

第二二四号

貴電第二四一号ニ関シ

貴官張作霖ニ会见ノ際果シテ支那側ニ並行線ノ計画アリヤヲ突止メラレタク右計画ノ実施ハ貴電ノ如ク北京會議日支間諒解事項違反ナルハ明白ニシテ直ニ之ヲ楯ニシテ支那側

スヘキ儀ト存セラル滿鉄側モ本件鐵道ノ計画承知セサルモ初メ京奉線用炭トシテ打虎山炭坑開坑ノ為ノ地方、彰武駐在ノ旅団トノ連絡ノ為トノ事ニテ距離モ近キニ付抗議セサリシモ白音太拉迄達ストセハ最早黙視シ難シトナシ過日大連ニ於テ滿鉄当事者ヨリ協議ノ次第アリ帝國政府ニ經同ノ上奉天当局ノ反省ヲ促カス為何分ノ措置ヲ至急執ル様話アリタリト何分ノ儀折返シ回訓ヲ請フ

（付 記）

八月十九日付安広満鉄社長發東京支社長宛電報

打通鐵道ノ工事進捗状況及ビコレニ対スル抗議ノ件

左記拓殖局長ニ伝達セフ十七日付貴電拜見ス
大虎山ヨリ新立屯ニ至ル三十五哩ノ鐵道ハ京奉線ノ支線トシテ現在運輸中新立屯ヨリ彰武ニ至ル三十哩ハ目下建設工事中同線ヲ通遼迄延長セシムルコトハ京奉局ノ予テヨリノ計画ニシテ昨年九月交通公報ニ掲載セラレタル同線施設ニ関スル京奉局ノ提案及之ニ対スル交通部ノ返電ニヨリテ略々京奉局ノ意圖ヲ付度シ得ルカ故ニ當時会社ハ北京ニ滞在中ナリシ松岡理事ニ同計画防止方手配ヲ電セシコトアリ然ルニ當時北京ニ於ケル觀測ニテハ交通部ニ於テハ京奉局ノ計画カ其ノ資金關係ヨリ急速ニ實現スルコト不可能ト考ヘ

ニ抗議シ得ヘキ筋合ナルモ寧ロ大局論ヨリ張作霖ニ対シテハ先ツ最近滿蒙ニ於ケル鐵道布設ニ付我滿鉄ノ資本技術ヲ利用シ置キナカラ今ニ當リ右布設鐵道ヲ逆用シテ明ニ滿鉄ノ不利益ヲ醸スカ如キ並行線路計画ノ實現ヲ図ルカ如キハ我方トシテ黙視シ難シトノ趣旨ヲ以テ本計画中止方可然説得シ先方ノ応酬振ニ依リ前記諒解事項援用相成度
北京ニ転電アリ度

一〇九二 八月二十六日

在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

京奉線打虎山支線ノ通遼延長ニ関スル報告書

送付ノ件

付屬書

八月二十三日付山領京奉鐵路遼河以東段技師長
ヨリ在奉天吉田總領事宛

右報告書

機密公第六六七号（極秘）

（九月一日接受）

大正十五年八月二十六日

在奉天

總領事 吉田 茂（印）

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

京奉線打虎山枝線ヲ通遼へ延長ノ件

本件ニ関シ往電第二四一号ヲ以テ申進置タル処右ニ関シ山領技師ヨリ別紙写ノ通り報告アリタルニ付委細右ニ付御査閱相成度

本信写送付先 在支公使、長春、牛莊 鄭家屯

(付屬書)

八月二十三日付山領京奉鐵路遼河以東段技師長ヨリ在奉天吉田總領事宛

京奉線打虎山支線ヲ通遼へ延長ニ關スル報告書

大正十五年八月二十三日

京奉鐵路遼河以東段技師長

山 領 貞 二

奉天總領事 吉田 茂殿

京奉線打虎山枝線ヲ通遼へ延長ノ件

大正十一年六月第一回奉直戰後京奉線山海關以東即チ關外鐵道ヲ占領シテ奉榆鐵路局ヲ奉天ニ設置セシ當時關内開鑿炭ノ供給途絶シ機關車用炭ハ總テ撫順炭ノ供給ヲ仰ク事トナリタルヲ以テ奉天側トシテハ石炭ノ自給ヲ得ン事ニ腐心シ打虎山站(奉天起点八十一哩)ノ西北約二十哩八道濠(新邱炭礦ノ南方約十七八哩ノ地点)ノ石炭採掘事業ヲ奉

三七〇呎)彰武県(打虎山起点六十九哩余海拔三七三呎)ノ四車站ヲ設置スル予定ニシテ全線ヲ通シテノ高低ノ差最大僅カニ百五十余呎一帶ニ平坦ナル土地ニシテ所々ニ小丘、沼沢点在スルノミ黒山県新立屯終点(打虎山起点三十六哩強海拔二七三呎)ヲ出テ二哩余ニシテ打虎山起点三十八哩四分ノ点ニテ土墻子(Palisade)ヲ横切り熱河特別区城阜新県ニ入り次テ十家子、泡子、兩車站ヲ經テ五十三哩ノ点ニテ饒陽河(全長約一〇〇〇呎)ヲ渡リ次テ古魯奔華車站ヲ經テ六十七哩ノ点ニテ柳河(全長約一二〇〇呎)ヲ渡レハ再ヒ奉天省彰武県ニ入り彰武県城及兵營ヲ右ニ見テ城壁ノ東北約一哩ノ地点ニ車站ヲ設ク彰武県車站ハ殆ント南北ノ位置ニ設ケ將來通遼(白音太來)延長ニ至便ナル方向ニ設置スル予定ナリ其工事費總額ハ仮橋梁ノ設備ニテ合計大洋銀毫百六十七萬元若シ前記柳河饒陽河ノ兩橋梁ヲ經間百呎永久鉄橋トスレハ更ニ六十六萬元ヲ要スヘク即チ總工費二百三十三萬元ヲ計上シ居レリ即チ新立屯彰武県間約三十四哩ノ線路、停車場等ノ建設費予算ハ平均一哩当リ七萬元弱ニ当ル

天礦務局ニテ經營セシメ同年十二月二十六日打虎山―黒山県―江台子―八道濠間ノ線路開通シ翌年(一九二三年)春英人技師^{ホルムストロム} Holmesstrom ヲシテ新立屯ヲ經テ彰武県ニ至ル延長線ノ測量ニ從事セシメ直ニ新立屯迄ノ工事ニ着手シ越ヘテ大正十四年七月廟崗子―芳山鎮―新立屯即チ打虎山ヨリ約三十六哩(總延長軌道終点迄ノ)間開通シ新立屯―彰武県間ハ更ニ同年中国人技師王国勳ヲシテ比較線実測ヲナサシメ傍ラ新立屯以北ノ土工ニ着手シ同年十二月迄ニ約十哩ノ土工及仮橋梁完成セシモ張郭戰ノ為ニ工事ヲ中止シ居リシニ去ル七月十日新ニ中国人技師梁鎮英ヲ總段工程司トナシ本年中ニ彰武県マテ完成セシム可ク再着手セシメ目下京奉全線ニ渡リテ軌条在高ノ調査ヲ命シ六十磅軌条貯藏品ヲ蒐集シテ同支線ノ延長用トシテ送付シツツアル状態ナルヲ以テ新規購入ノ軌条未着ニテモ或ハ本年末迄ニ開通セシムル事ハ難事ナラサル様思考セラル

新立屯―彰武県間予定線路及工事費予算

新立屯―彰武県間ハ其延長約三十四哩ニシテ其間二十家子(打虎山起点四十三哩余海拔二七〇呎)泡子(打虎山起点五十二哩余海拔三三〇呎)古魯奔華(打虎山起点六十哩強海拔

通遼へノ延長

本枝線ヲ彰武県ヨリ通遼ニ延長セシムルノ儀ハ昨大正十四年九月二日付ニテ京奉鐵路局常局長ヨリ交通部ニ致セル呈文(九月十三日交通公報)ニヨレハ溝帮子奉天間ノ本線及側線合計百二十一哩半ノ軌条ヲ八十五磅レールニ敷設替ヲナシ其古軌条(六十磅)ヲ新立屯―通遼間ニ敷設シ尚不足ノ分六十磅レール約五十哩分及転轍器轍叉等ヲ合シテ合計大洋銀二百四十万七千二百七十二元二分ヲ三ヶ年賦支払ヒトシ六月及十二月末日ヲ支払期日トシ購入申請ヲナセシニ交通部九月十九日付電報ニテ同月二十五日ノ入札ニ技正孫某ヲ監視人トシテ派遣セル旨回答セシ程ナル故確定ノ事実ト認メラル昨秋奉国張郭戰等ノ為十一月以來本年五月十七日迄ハ京奉線ハ關内外再ヒ分裂シ天津京奉總局ニテハ關外ノ事ハ全然奉榆局ニテナスモノトシ關知セサル混沌タル有様ニテ一般商人ハ殆ント代金引換ノ外材料ノ供給ヲ肯セサル状態ニ陥リシ故同枝線ノ延長等全然中止セラルヘキ運命ト思ヒシニ六月二日常蔭槐氏再ヒ局長トナリ七月二日入リ再着手ノ運ヒトナリシモノニテ目下八十五磅軌条ノ當口到着予定期限總局ニ照会中ナルモ未タ回答ニ接セス然レ共打虎

山―通遼線ハ早晚ニ京奉鐵路ノ剩余金ヨリノ支出ヲ以テ完成セラルヘキ運命ノモノト思考セラル

尚詳細ノ件ハ目下關係ノ向ヘ其レトナク關合セ中ニ付重ネテ御報告可致候

敬具

一〇九三 八月三十日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

京奉線支線打虎山・通遼間鐵道敷設ニ關スル

滿鉄ヨリノ情報報告ノ件

付屬書 八月二十日付滿鉄本社大藏理事ヨリ在奉天吉田

總領事宛

京奉鐵道支線打通線敷設ニ關スル關連文書ノ送付及ビ同鐵道敷設阻止ニ關スル件

機密公第六七六号（極秘）（九月四日接受）

大正十五年八月三十日

在奉天

總領事 吉田 茂（印）

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

京奉線枝線打虎山通遼（白音太來）間鐵道

敷設ニ關スル件

本件ニ關シテハ往電第二四一号及機密公第六六七号ヲ以テ

マス

実ハ本件ハ昨年九月頃北京ノ交通部月報ニ報告カアリマシタ際早速其ノ當時滯京中ノ松岡理事ニ打電シテ阻止運動方ヲ依頼シタノテスカ同理事モ他ノ人ト同様本件ハ實現可能性ノ乏シイ事ト馬鹿ニシテ掛ツテ居ツタ為ツイ何等ノ手段ヲ採ラス其ノ儘忘レテ居リマシタ処最近ニ復愈先方カ之ヲ實現シタ結果騒ギ出シタ次第テ手違ヒテアツタ段誠ニ遺憾ニ存シマス

併シ未タ今日ト雖立チ直ル余地ハアルト存シマスドウカ何分ノ御配慮ヲ願ヒマス

（別紙一）

京奉鐵路支線大通線（大虎山―通遼間）建設ニ

就テ

本鐵路ハ当初虎濠鐵道ト称シ京奉線ノ一駅大虎山ヨリ分歧シ張作霖所有ノ八道濠炭坑ニ至ル延長十八哩ノ運炭鐵道（広軌）ニシテ京奉線ノ燃料供給ヲ目的トシ大正十一年十二月竣工營業ヲ開始シタルモノナルカ其ノ後新立屯迄（八道濠ヨリ約十五哩半）ノ延長計画ヲナシ大正十四年八月末竣工目下大虎山新立屯間ノ營業ヲナシツツアリ奉天側ハ尚

申進置タル処今回滿鉄大藏理事ヨリ別紙写ノ趣報告アリタルニ付為參考送付ス

本信写送付先 在支公使、長春、牛莊、鄭家屯

（付屬書）

八月二十日付滿鉄本社大藏理事ヨリ在奉天吉田總領事宛

京奉鐵道支線打通線敷設ニ關スル關連文書ノ送付及ビ同鐵道敷設阻止ニ關スル件

大正十五年八月二十日

滿鉄本社

大藏理事

奉天

吉田總領事殿

前略

京奉線大虎山ト白音太來間ノ鐵道ヲ支那側カ敷設セムトシツツアル事ニ付テハ先日御打合せシタ通テスカ尚本件ニ關シ内輪關係ノ文書ヲ蒐メマシタカラ御覽ニ入レマスドウカ貴方カラモ正式ニ御照会下サレハ誠ニ好都合ト存シマス尚本件必スシモ正式ニ照会スル許リカ有効デハナイ事ト考ヘマスノテ關東軍ノ方ニモ話シ軍カラ松井少將ヲ通シ内面的ニ本計画ヲ阻止スル様ニモ尽力シテ貫ヒ度イト考ヘテ居リ

進シテ彰武ヲ經通遼ニ延長シ大通線ヲ完成スヘク企圖シ着々実行サレツツアリ

京奉派遣員山領技師長最近ノ談ニ依レハ新立屯―彰武間ハ本年中ニ竣工スル予定ニテ目下苦力五、六百人ヲ使用シ土工々事ヲ急キツツアリ既ニ一部ハ完成シ新立屯ヨリ七哩間ハ軌条敷設済ナリト尚本鐵路ノ建設資金ハ現在京奉關外一日ノ收入約三萬元ヲ奉天ニ收納シツツアル現状ナルヲ以テ差繰都合シ得ルモノト想定セラル

前述セル如ク本鐵路ハ当初運炭線ノ計画ナリシモ京奉線複線計画案提議サレタル際同線ヲ複線トナスヨリモ大虎山ヨリ通遼ニ至ル鐵道即大通線ハ京奉線ニ接近シ且軍事運輸等ニ關係スルコト重大且有利ナリトシテ奉天省交通委員會ハ本鐵路ノ建設ヲ議定シタルモノト思考セラル

右議定ニ依リ九月十三日及二十三日ノ交通公報ニ掲載（別紙訳文参照）ノ通京奉鐵路ハ交通部ノ承認ヲ求メ奉天溝帮子間ノ軌条六〇封度ヲ八十五封度ニ更換シ該發生古軌条ヲ以テ本鐵路ヲ敷設スヘク尚不足ノ軌条ハ測量終了ノ上購入スヘク計画サレタルモノナリ

北京公所長ハ本件ニ關シ交通部ノ意向ヲ糾シタルニ別紙ノ

交通部ハ本鐵路ニ無關係ナルカ如ク言明セリ然ルニ現時ノ狀態ヨリ考フレハ本鐵道ハ實現可能ト見ルノ外ナキノミナラス山領技師長ノ談ニヨルモ京奉鐵道ハ銳意其ノ全通ヲ速成セシメントスルモノノ如シ

右大通線ニ對シ滿鉄ノ利害ヲ考慮スル時ハ新邱炭運炭線ノ關係ハ勿論現四洮鐵道ノ滿鉄關係ヲ著シク不利ニ導クモノナルヲ以テ所謂日清滿州善後條約ニ關スル秘密協約第三項ニ基キ彰武以北大通線建設ヲ阻止スルニ適當ノ方法ヲ講スルヲ急務ト認ム

(別紙二)

京奉局ヨリ交通部ニ提出セル呈文(訳文)

大正十四年九月二日

溝帮子、奉天間線路軌条ヲ八十五封度ノモノ

ニ取換ヘ且大虎山、通遼間ノ支線ヲ敷設スル

コトトシ指名入札ヲ以テ所要材料購入ノ件

溝帮子、奉天間線路ヲ八十五封度重軌条ニ取換ヘ且大虎山通遼間支線ヲ敷設シテ運輸營業ニ資スルコトトシ指名入札ニ依リ所要材料ヲ購入セントスルニ付申請ス

思フニ溝帮子奉天間線路ヲ速ニ八十五封度重鋼軌ニ取換ヘ

方法ヲ講スレハ必スシモ支弁シ得ラレサルニアラサルヲ以テ茲ニ一切ノ工費材料費ノ金額ヲ三年ニ均分シ毎年六月三十日及十二月三十一日ヲ支払期日トシ期日前ノ金額ニ對シテハ年六分期日後支払遲滞ノモノニ對シテハ年八分ノ利息ヲ付スルコトトシテ支弁スレハ毎年八十萬元内外ヲ以テ事足ルコトトナリ之ヲ會計処長「トムソン」ニ札シタルニ必スシモ融通シ得ラレサルニ在ラスト云ヘリ凡ソ事業ハ將來相償フヲ以テ目的トスルモノナルカ右ニ依レハ差当リ負担ヲ多クスルコトトナルモ他日ノ利源開發ヲ以テ相償フテ余リアルヘク其ノ間ノ得失ハ贅言ヲ要セサル所ナリ右若シ御認可ヲ得ハ指名入札法ニ從ヒ首令公司、怡和、衛德、仁記、安利、三井、慎昌、大昌、美鋼、ベルギー營業公司、新民、天利、沙利士乃德等十五会社ヲ指名シテ入札セシメ其ノ價格低廉ニシテ右代金支払方法ヲ承諾シタルモノヲ以テ落札者ト為スコトトスヘシ尚入札開票期日ヲ待ツテ別ニ交通部ニ對シテ開票監督者ノ派遣ヲ申請スヘキ筈ナルモ茲ニ入札指名書案及工務処長報告書並ニ予算書ヲ添付シ此段申請ス何分ノ儀至急電報ニテ御指示アリ度

添付書類(略)

以テ運輸營業ニ資シ滯貨ヲ免レントスル所以ノモノハ蓋シ八十五封度重鋼軌ニ取換フレハ能ク重機關車ノ圧力ニ耐ヘ運輸能力ヲ増加シ軍事上營業上均シク莫大ノ利益ヲ受クヘキヲ以テ漸次軌条ノ取換ヲ為シ之ヲ全線モ亦同時ニ起工シ以テ天然ノ利ヲ收ムヘキナリ蓋シ同地方ハ石炭穀類ノ產出豐富ニシテ若シ交通ノ利便ヲ得ハ糧食ノ集散敏活トナリ土地ノ開拓及鉅山ノ採掘ヲ容易ナラシムルモノナレハ之レ亦遲疑スヘキニアラサルナリ工務処長牛麻治(ニューマーチ)ヲシテ調査セシメタル報告ニ依レハ溝帮子奉天間ハ滿鉄駅ニ至ル線路及各駅側線ヲ合シテ延長合計百二十一哩半ニシテ「ベッセマー」丁鋼八十五封度重軌条一万六千三百九十二噸半、螺栓及螺蓋九十八噸四分ノ一、犬釘五百四十六噸半ヲ要シ通遼支線約五十哩ハ溝帮子奉天間取外シ軌条等ヲ使用スルコトトシテ尚六十封度軌条四千七百十四噸魚尾板四百十噸半魚尾栓三十九噸犬釘二百噸ヲ要ス尚此ノ外道尖道又及工費ヲ合シ通計支那貨幣二百四十万七千二百七十二元三角三分ヲ要スト云ヘリ右該工務処長ノ計算ハ確實ナルモノト認メラルモ本鐵道目下ノ財政狀態ニテハ全部現金ヲ以テ支弁スルコト不可能ナリ然レトモ収益ヲ融通シテ

(別紙三)

交通部ヨリ京奉鐵道ニ宛テタル電文(訳文)

大正十四年九月七日

京奉線常局長甲密第六六四号申請書及添付書類了承ス右申請ノ溝帮子奉天間線路及各駅側線延長合計一百二十一英里ヲ八十五封度重軌条ニ取換ノ件及大虎山通遼間支線敷設ノ件ヲ審査スルニ本線ニ於ケル施工ノ順序及支線敷設ノ予算ニ付キ何等申越ナシ新立屯彰武間ニ曩ニ決定セル線路ニ依ルモノナリヤ否ヤ又彰武通遼間ノ線路ハ若シ測量未了ナラハ至急測量ヲ為シ新立屯通遼間全線ノ予算書及線路圖ヲ提出スヘシ又本線所要ノ一百二十一哩重軌条ハ予メ購入シテ可ナルモ軌条圖面及説明書ハ總テ交通部制定ノ標準規定ニ改メ支線所要ノ輕軌条ハ線路ノ測定ヲ待ツテ購入スルコトトスヘシ軌条ハ最モ普通ノ材料ナレハ国内及外国ノ著名ナル成可ク多數ノ商店或ハ工場ヲシテ入札セシメ以テ広く比較ヲ取ルコトニセラレ度

(別紙四)

京奉局ヨリ交通部ニ送レル呈文(訳文)

大正十四年九月十五日

溝帮子奉天間軌条入札期日
報告並監視員派遣申請ノ件

溝帮子奉天間軌条入札購買ノ件ニ関シテハ本年九月七日交通
部ヨリ電報ヲ以テ

溝帮子奉天間線路(各駅側線ヲ含ム)百二十一哩ヲ八十
五ポンドレールニ取換ヘ大虎山通遼支線ヲ修築セントス
トノ呈文アリタル所同呈文ニハ幹線工事施行順序及支線
予算等ヲ記載セス新立屯彰武線ハ前ニ定メタル線路ニ依
ルヤ彰武ヨリ通遼ニ至ル線ハ測量未済ナラハ速ニ測量ヲ
為シ新立屯通遼間全線ノ予算及線路圖ヲ提出シ許可ヲ請
フヘシ幹線所用レール百二十一哩ハ購入スルモ差支ナシ
但シレール圖式説明書等ハ交通部所定ノ標準ニ依ルヘク
支線用ノ輕軌条ハ線路測量ヲ終ヘタル上購入スヘシ尚レ
ールハ普通ノ材料ナレハ多数ノ内外著名ナル商人工場ヲ
シテ入札セシメ比較考量ニ資セシムヘシ

ト御命令アリシカ今回溝帮子奉天間ノ軌条ヲ八十五ポンド
レールニ取換フルコトハ急務ナルカ幸ニ貴部ノ採納ヲ得タ
ルヲ以テ予定ノ數量ヲ入札購入スル為内外ノ著名ナル商人
三十四人ヲ選ヒ入札ニ応セシムルト共ニレール圖式説明書

定セラル今回京奉鐵路ニ於テ「レール」ヲ入札スルニ就テ
定メタル期限ハ僅ニ十日ヲ残スノミニテアマリニ切迫シ過
ク

同鐵路ニ於テハ「レール」ヲ必要トスルコト急ニシテ且内
外国ノ各工場ハ交通部所定ノ圖式説明書ニ就テ詳細知悉シ
居ルカ故ニ開標期日ヲ二十五日ニ延長スルコトセラルヘ
シ

入札保証金ニ就テハ指名入札ノ方法ヲ採リタル以上鐵路局
ヨリ信用厚キ商人ヲ選ヒ入札セシムヘク指名入札ニ付テハ
入札条例ニ保証金ニ関スル規定ナシ今回京奉局ハ一般入札
方法ニ依ルヲ欲セサリシニ拘ラス三十余人ノ商人ニ書面ヲ
送付シタルハ余リニ多キニ過ク併シ入札ニ関スル書面ハ已
ニ發送済ナルヲ以テ便宜上保証金ヲ徴收スルコトニ致サレ
度今後材料購入ニ就テハ一切ノ手續ヲ本部ノ法令ノ精神ニ
適合セシムヤウ慎重ニ取扱ヒ之レヲ公開シ且鐵路金員ノ節
約ヲ旨トスヘシ

(別紙六)

京奉局宛交通部電報(訳文)

大正十四年九月十九日

等ハ交通部所定標準通りニ改メタリ幹線施工順序ハ速ニ作
製シ追報スルヤウ工務処ニ命令セリ新立屯彰武線ハ本年七
月工務処ヲシテ測量隊ヲ組織セシメ測量ニ着手セシメシカ
高粱繁茂シテ田畑ノ測量ニ不便多カリシ為メ一時測量ヲ中
止セシメタルカ今ヤ收穫モ將ニ終ラントシツツアレハ再ヒ
測量ヲ開始シ詳細予算ヲ報告スルヤウ工務処ニ命令スヘシ
新立屯彰武線ノ測量完了次第彰武通遼間ノ測量ヲ為シ全線
ノ予算及線路圖ヲ提出シ査閲ヲ請フヘシ

幹線用八十五ポンドレール入札購買ニ就テハ同品ハ至急入
用ノ物ニアリ且各国製造工場ハ中国国有鐵路説明書ヲ有
シ電報ヲ以テ價格ヲ問合スハ容易ナルニ因リ九月二十一日
午後二時半当局ニ於テ開標スルニ決定セリ依テ規則ニ依リ
貴部員ノ派遣監視ヲ請フ

(別紙五)

交通部ノ京奉局宛電報(訳文)

大正十四年九月十七日

京奉常局長甲密十五日付電報接受開標期日ハ条例ニ依レハ
入札者カ圖面及説明書ヲ郵送シ入札價格ヲ回答シ来ル為ニ
電報ヲ以テ照会スルニ充分ナル時間ヲ留保シ置クヘシト規

京奉常局長甲密第六九五号呈文承知貴局八十五ポンドレ
ール入札購買ノ件ニ関スル電ニ依レハ九月二十五日午後三時
開標ノコトト改メラレタリト本部ハ技正孫某ヲ派遣シ開標
ヲ監視セシム

大正十四年九月十九日

交通部

京奉常局長宛

(別紙七)

鉄庶文第一六五号ノ一ノ二〇

北公情秘二五第四号六

大正十四年十月一日

北京公所長

庶務部長殿

大虎山通遼間ノ鐵道ニ関スル件

本年九月十三日ノ交通公報ニ首題ノ件ニ関スル鐵道敷設ノ
京奉鐵路局呈文及之ニ対スル交通部ノ返電ヲ掲載シ居レル
カ右ニ関シ交通部ニ就キ取調ヘタル所ニ依レハ右ハ其ノ呈
文ノ如ク全然京奉鐵路局ノ意思ニシテ交通部ニ於テハ到底
其ノ資金ノ問題ニテ成立不可能ノコトト思フモ無下ニ否決
スヘキ問題ニアサルヲ以テ不取敢予算、設計其他完成ノ

上ハ更ニ呈文ヲ差出スヘシトノ指令ヲ為シタルニ過キスト申シ居レリ尚レールノ購買ニ関シテハ右鐵道ニ使用スルモノニ非スシテ其ノ呈文及返電ニアル如ク溝帮子ヨリ奉天ニ至ル間ノレール取換ニ使用スルモノナリトノコトナリ

然レトモ当所ニ於テ考案スル所ニ依レハ右鐵道ハ先年錦璽鐵道ノ外資ヲ以テ建設セムトシタル際滿鉄ノ並行線ナルノ故ヲ以テ之ヲ阻止サレタル後交通部ニ於テハ自營ヲ以テ之ヲ建造シ其ノ通遼ニ出ツルカ又ハ開魯ヲ經テ北ニ通スルヤハ別問題トスルモ京奉線ヨリ齊々哈爾ニ至ル一貫ノ線路ヲ成ルヘク滿鉄線ニ接近シテ作り我社ノ勢力西漸ヲ防キ北方並以西ノ交通ヲ其ノ手ニ収メムトスルノ計画アルコトハ連山灣ノ築港計画ト共ニ熱望スル所ニシテ殊ニ現交通總長葉恭綽氏ハ昔ヨリ之カ熱心ナル主動者ナルノ点ヨリ察スルモ何等カノ形式ニ依リテ之ヲ實現セムト試ミツツアルコトハ想像ニ難カラス依テ会社ニアリテハ常ニ其ノ進行ニ注意シ之カ対策ヲ講スルノ必要アルコト言フ俟タス

一〇九四 九月一日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

打通鐵道ノ敷設計画ニ関シ楊宇霆ニ抗議セシ

苦情モ云ハサリシカ其ノ後新立屯ニ至リ更ニ新立屯、彰武間並ニ彰武ヨリ遼ニ「パイインタラ」迄延長スルコトトナレハ全ク南滿線ト平行線ノ形ヲ為スカ故ニ抗議セサルヲ得ス現ニ長扶線敷設ノ砌リハ距離ニ於テ更ニ滿鉄本線ヨリ遠カレトモ英國筋ヨリ諒解ヲ求メ來レル事例モアリ此レヨリ一層近キ本平行線ニ對シ我方トシテハ黙認シ難キ所ナル次第ヲ述ヘ置キタリ本件ハ前記楊ノ態度ニ鑑ミ単ニ德義の大局論ヲ以テスルノミナラス進ンテ貴電末段會議諒解事項ヲ引用ノ上文書ヲ以テ正式ニ抗議シ置クコト然ルヘキカト存セラル何分ノ儀御回訓ヲ請フ

(欄外記入) 張ニ對シテ直接糾弾ノ上ニ書面抗議可然
(木村重細重局長花押)

一〇九五 九月四日 幣原外務大臣ヨリ
在奉天吉田總領事宛(電報)

打通鐵道ノ敷設計画ニツキ張作霖ニ對シ嚴重

ニ抗議スベキ旨訓令ノ件

第一三三三號

貴電第二六四號ニ関シ

九 東三省鐵道問題 一〇九五 一〇九六

旨報告及ビ更ニ文書ヲ以テ正式ニ奉天當局ニ
抗議スベキヤ請訓ノ件

第二六四號

貴電第一二四號ニ関シ

(欄外記入)

一昨三十日楊宇霆來訪ノ節最近支那側ニ於テハ條約ヲ無視シ我利益ヲ度外視シ我ヲシテ貴方ノ真意ヲ誤解セシムル行動鮮カラス例ヘハ四月大連ニテノ日支連絡會議ニ於テ支那側當局者ハ滿鉄側ニ對シ洮昂線ハ滿鉄線ニ全然從属スルモノニ非ス東支線ノ利益ノ為ニ輸送ヲ為ス場合モアルヘシトテ暗ニ滿鉄側ヲ威嚇シ會議ヲ決裂セシメタカ最近ハ打虎山、彰武、「パイインタラ」線敷設計画アルヤノ噂アリ右事實トセハ本線敷設ハ恰モ滿鉄ノ費用ヲ以テ建設シタル洮昂線ヲ利用シテ滿鉄本線ニ對スル平行線ヲ敷設スルモノニ當リ甚タ穩当ナラスト述ヘタル処楊ハ連絡會議ニ於ケル洮昂線側ノ苦情ハ全ク下級職員限リノ言ヒ分ニテ自分共ノ思ヒ設ケサル所彰白延長線ニ對シテハ未タ全ク其ノ計画ナシ然レトモ飯ニ計画アリトスルモ別段差支ナカルヘシトテ聊カ不滿ノ面持ナリシニ依リ本官ハ支那側ハ曩ニハ運炭線ノコトニ付キ滿鉄側モ短距離ノコトナレハ支那ノ利益ノ為メ別段

貴官ハ最近ノ機會ニ於テ張作霖ニ對シ篤ト往電第一二四號ノ趣旨ヲ申入レラレ度然モ尚支那側力其態度ヲ改メサルニ於テハ貴電末段ノ通り書面ヲ以テ嚴重抗議アリ度
在支公使ニ転電アリ度

一〇九六 九月八日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

打通鐵道敷設計画ニ関スル我方抗議ニ對スル

張作霖ノ応答振り報告ノ件

第二七〇號

(九月九日接受)

貴電第一三三三號ニ関シ

張作霖ニ彰武、白音太拉鐵道延長ニ関シ貴電第一二四號御電訓ノ趣旨ヲ以テ其実否ヲ帝國政府ノ命ナリトテ質セル処張ハ彰武、白音太拉線敷設ニ関シテハ全ク初耳ニテ其計画アルヲ知ラス仮令敷設セムトスルモ資金ナキヲ如何セムト言フニ付然ラハ帝國政府ニ報告ノ必要上後ヨリ公文ニテ一応確メ置キタシ貴方ニ其計画ナシトセハ其旨回答相成リタシト告ケタルニ張ハ明言ヲ避ケタリ依テ貴電第一三三三號ノ趣旨ニテ一応公文ヲ送付ノ考ナリ

九 東三省鐵道問題 一〇九七 一〇九八 一〇九九

一〇九七 九月九日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛(電報)

北京政府ニ対スル正式抗議ニツキ請訓ノ件

第二七二号

(九月十日接受)

(欄外記入)
往電第二七〇号ニ関シ

本件ハ北京政府ニ対シテモ公式抗議シ置クノ必要アリト認
ムル処張作霖ニ対スル抗議文起草ノ関係モアリ何分ノ儀御
回電ヲ請フ

(欄外記入) 支那側ハ未タ計画モ確定セスト云フヲ以テ北京ニ
テ正式抗議迄ノ問題ニ非ス
対張覚書ヲ為念外交部ニ送付シ置クニ止メタシ

一〇九八 九月十日

幣原外務大臣ヨリ
在奉天吉田總領事宛(電報)

北京政府ニ対スル正式抗議見合セラレタキ旨

訓令ノ件

第一三七号

貴電第二七二号ニ関シ

貴電第二七〇号ニ依レハ張作霖ハ未タ彰武・白音太拉間鉄
道計画ヲ知ラスト答ヘタル趣ニテ今後先方ノ出方如何ニ依
リテハ尚懇談ノ余地アリヤニ認メラル從テ此ノ際張ニ対シ

本信写送付先 在支公使

(付屬書)

九月十六日付鎌田滿鉄奉天公所長ヨリ在奉天吉田總領事宛奉

公調第二九号

京奉鐵路局ノ軌条購入説ニ關スル回答ノ件

奉公調第二九号

大正十五年九月十六日

奉天公所長 鎌田弥助

吉田總領事閣下

京奉鐵路局ノ軌条購入説ニ關スル件回答

九月十四日付庶調第一〇号ヲ以テ御照会ノ首題ノ件ニ付在
天津安利洋行員ローズ氏カ京奉鐵路局技師長ニ語レル所ヲ
左記御報告致シマス

左 記

京奉鐵路局ハ大正十四年九月二十五日安利洋行トノ間ニ奉
天溝帮子間ノ軌条取替ニ要スル八十五磅軌条ノ購入契約ヲ
締結セシモ其後戰爭勃発シ引続キ張郭戰等ノ為納入不能ト
ナリ居タル処本年九月初メ再入札ヲ行ヒ其結果アンダーソ
ン、マイヤース商会ト契約スルコトナリ三箇年ノ期限ヲ
以テ六箇月毎ニ納入スルコトナレリ軌条ノ種類ハ八十五
磅一二一哩分六十磅五十哩分合計一万八千噸ニシテ価格二

九 東三省鐵道問題 一〇〇〇

一三七〇

抗議文ヲ送致スルハ適當ナルヘキモ別ニ北京政府ニ対シ正
式ニ抗議スヘキ時機ニ在ラスト思考ス

本電貴電第二七〇号及第二七二号ト共ニ北京ニ転電アリ度

一〇九九 九月十八日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

京奉鐵路局ノ軌条購入ニ関スル滿鉄ヨリノ情

報報告ノ件

付屬書

九月十六日付鎌田滿鉄奉天公所長ヨリ在奉天吉
田總領事宛奉公調第二九号

京奉鐵路局ノ軌条購入説ニ關スル回答ノ件

機密公第七三七号

(九月二十三日接受)

大正十五年九月十八日

在奉天

總領事 吉田 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

京奉鐵路局ノ軌条購入ニ關スル件

本件ニ関シ九月十一日付機密公第七二二号ヲ以テ京奉線山
領技師内話中申進置タル次第有之処今般当地滿鉄鎌田公所
長ヨリ別紙写ノ趣報告アリタルニ付御参考迄此段送付ス

百万元ナリ内八十五磅ノ分ハ奉天溝帮子間ノ本線並側線ノ
取替ニ使用シ六十磅ノ分ハ之ヲ右取替旧軌条ト併セ昨年九
月十三日交通公報ヲ以テ発表シタル如ク第一期新立屯彰武
間第二期彰武白音太拉間ノ鉄道敷設ニ使用スル計画ナリト
云フ

一一〇〇 九月十八日

在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

滿鉄並行線打虎山・白音太拉線新設計画ニ関

シ張作霖ニ抗議文送付ノ件

付屬書

九月十七日付在奉天吉田總領事ヨリ張作霖宛公
文第五九七号写

右抗議文

機密公第七三八号

(九月二十三日接受)

大正十五年九月十八日

在奉天

總領事 吉田 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

滿鉄並行線打虎山・白音太拉線新設計

画ニ関シ張作霖ニ抗議ノ件

本件ニ関シ往電第二七〇号ノ通り申進置タル処今般張作霖

一三七一

宛別紙写ノ通り申入置タルニ付右報告ス

本信写送付先 在支公使 滿鉄大蔵理事

(付屬書)

九月十七日付在奉天吉田總領事ヨリ張作霖宛公文第五九七号

打虎山・白音太拉線新計画ニ関シ抗議ノ件

公文第五九七号

大正十五年九月十七日

駐奉日本帝国總領事 吉田 茂

鎮威上將軍 張作霖殿

拝啓陳者打虎山新立屯ヨリ彰武ヲ經白音太拉ニ至ル鐵道敷設計画成リ右ハ既ニ昨年九月中交通公報ヲ以テ公表相成居ルル趣ナルカ右計画線成ラハ自然四洩及洩昂線ニ連絡シ滿鉄本線ニ対シ明ニ競争並行線ヲ形成シ而モ其ノ距離僅々平均七十哩ニ過キス曩ニ明治三十八年日清滿州善後條約議定ノ当時南滿州鐵道付近ニ之ト並行スル幹線又ハ該鐵道ノ利益ヲ害スヘキ枝線ヲ敷設セサル旨貴国政府ノ声明アリ本鐵道敷設計画ハ明ニ右声明ニ反スルノミナラス元來四洩及洩昂線ハ滿鉄ノ資本及技術ニヨリ建設セラレタルモノニシテ之ニ依リ直チニ滿鉄本線トノ並行線ヲナスヘキ鐵道新線敷設ヲ計画セラルルカ如キコトアルヘキハ帝国政府ノ全ク予

シ九月十八日付機密第七三八号ノ通り抗議文提出シ置タルニ対シ今般張作霖ヨリ別添写ノ通り回答有之右ニ依レハ本件計画ハ未タ無之モ將來此種計画実行ノ場合ニハ事内政ニ関スルカ故ニ我方ヨリ干涉セラレサル可キヲ述ヘテ彼ノ日支協定條項ヲ全然無視シタル態度アリ仍テ右ニ対シテハ更ニ先方ヘ申送ル手筈ニ有之一応事情報告ス

本信写送付先 在支公使

(付屬書)

十月二十七日付張作霖ヨリ在奉天吉田總領事宛政字第八号写

打虎山、彰武、白音太拉線敷設問題ニツキ回答ノ件

政第 八 号 (写)

照 会

鎮威上將軍 節制東三省軍政督弁東北辺防屯墾 督 弁 奉 天 軍 務 善 後事宜公署為照

復事准

貴總領事第五九七号及六九五号照会詢及打虎山白音太拉間之鐵路敷設計画是否実行請查照見復等因查此項鐵路現在並無計画敷設之事如將來為開闢奉省起見經官府或人民提議興修事關内政屆時自當斟酌情形為之貴国政府對於奉省地方事業夙抱開闢之意

期セサル処將又京奉線朝陽支線敷設ノ砌英国政府ハ特ニ帝国政府ノ了解ヲ求メタル既往ノ事例アリ更ニ之ヨリ一層近距離ナル本線敷設計画ニ対シ事實トセハ帝国政府ノ監視スルヲ得サル処ナリ就テハ右計画ノ実否承知致度何分ノ儀御回示相成度此段照会得貴意候 敬 具

一一〇一 十一月一日 在奉天吉田總領事ヨリ 幣原外務大臣宛

打虎山、彰武、白音太拉並行線敷設問題ニ関

スル張作霖ノ回答報告ノ件

付屬書

十月二十七日付張作霖ヨリ在奉天吉田總領事宛 政字第八号

右張作霖ヨリノ回答文写

機密公第八二二号

大正十五年十一月一日

在奉天

總領事 吉田 茂 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

打虎山、彰武、白音太拉並行線布設ニ関スル件

本件ニ関シ往電第二七〇号ヲ以テ報告申進置タル処右ニ関

貴總領事必能樂於贊助似無干預之必要也相應照復即希查照為荷此致

大日本駐奉總領事吉田

張 作 霖

中華民國十五年十月二十七日

一一〇二 十一月五日

在奉天吉田總領事ヨリ 幣原外務大臣宛

打虎山、白音太拉間鐵道敷設ニ関シ張作霖ニ

再度申入レノ件

付屬書

十一月五日付在奉天吉田總領事ヨリ張作霖宛公 文第七三三号

右申入レ文写

機密公第八三三号 (極秘)

大正十五年十一月五日

在奉天

總領事 吉田 茂 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

打虎山、白音太拉間鐵道敷設ノ件

本件ニ関シ本年十一月一日付機密公第八二二号拙信ヲ以テ既報ノ支那側回答ニ対シ最近支那側多少妥協気味ニ付余リ

突キ進ムモ如何ト存シ一応本五日付ヲ以テ別紙張作霖宛公文第七三三號ヲ通り申入置タリ尚ホ嚴重ニ申入ル様トノコトナレハ折返シ御回訓ヲ乞フ

本信写送付先 在支公使

(付屬書)

十一月五日付在奉天吉田總領事ヨリ張作霖宛公文第七三三號
寫

打虎山白音太拉間鐵道敷設ニ關シ張作霖ニ再申入レノ件

公文第七三三號

大正十五年十一月五日

駐奉日本帝國總領事 吉田 茂

鎮威上將軍 張 作 霖 殿

拝啓陳者打虎山、白音太拉間ノ鐵道敷設ノ件ニ關シ目下其計畫ナキモ將來奉天省開發ノ為起工スルノ必要ニ迫ラハ時勢ヲ酌量シ之ヲ決定スヘキ旨十月二十七日付政字第八號貴答ノ趣聞悉致候本件計畫ニ對シ帝國政府力之ヲ默認シ難キ所以ハ前回拙信ニ纏説ノ通ニ有之滿州啓発ノ為鐵道敷設ノ益々多カラン事ハ帝國政府ノ固ヨリ希望スル処ナリト雖貴我約定ハ兩國互ニ之ヲ尊重センコト亦帝國政府ノ切望スル所ナリ貴信ハ一応帝國政府ニ稟報シ更ニ回訓ヲ俟テ可申進

本信写送付先 在支公使、吉林、長春

一一〇四 十二月二十四日

幣原外務大臣ヨリ
在奉天峰谷總領事代理宛
(電報)

打通鐵道計畫ニツキ改メテ張作霖ニ對シ嚴重

抗議方訓令ノ件

第一九〇號

往電第一三三號並九月十八日付貴信機密公第七三八號ニ關シ

貴地滿鐵情報ニ依レハ支那側ニ於テハ目下新立屯、彰武間工事ヲ実行シ居レルノミナラス白音太拉延長工事ノ着手ヲモ急キ居ル趣ナル処右ハ本件ニ關スル我方抗議ヲ無視シタルモノニシテ日本政府トシテ到底容認シ難キトコロナルニ付テハ貴官ハ至急本件事實御確メノ上張作霖ニ對シ更ニ嚴重抗議相成結果回電アリ度

在支公使ニ転電シ吉林ニ暗送アリ度

一一〇五

(昭和元年)
十二月二十九日(着)

在奉天峰谷總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛 (電報)

打通鐵道問題ニ關シ楊宇霆ニ對シ張作霖宛

九 東三省鐵道問題 一一〇四 一一〇五

候 敬具

一一〇三 十一月十六日

在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

新立屯・彰武間延長工事着手ニ關スル山領技

師ノ談話報告ノ件

機密公第八五四號

(十一月二十四日接受)

大正十五年十一月十六日

在奉天

總領事 吉田 茂 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

新立屯彰武延長線敷設ノ件

京奉線山領技師ノ本件ニ關スル談ニ依レハ今回支那側ハ愈々彰武迄ノ延長線ヲ敷設スル為メ現ニ營口ニアル奉海鐵道敷設用線路二十五哩ヲ同線路敷設ニ振向ケ一日約四分ノ三哩位ノ割ヲ以テ本年中ニ完成セシムル趣ニテ之カ付屬品ハ既ニ当地ヨリ輸送方手配セリトノ事ナルカ近來支那側カ斯ノ如ク頻リニ奧地鐵道布設ヲ目論見ントスルハ要スルニ其ノ沿線土地價格ノ釣上ケニヨル軍閥ノ私慾ニ出スルモノナル由右報告ス

抗議文ヲ手交シタル件

付 記

昭和二年一月八日付在奉天峰谷總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛機密公第一一號

打通鐵道敷設計画ニ對スル張作霖宛抗議文写送付ノ件

第三九〇號

(欄外記入)
二十八日張作霖宛抗議文ヲ携帶楊宇霆ニ面会シ本件我方從來ノ態度ヲ説明シ今回更ニ本國ヨリ嚴重ニ電訓アリタリト前置ノ上支那側ノ協定違反ニ付警告致シタル処新立屯、彰武間ハ或ハ竣成シ居ルヤモ知レサルカ彰武、白音太拉間計畫ニ付テハ奉天省政府ニ於テ計畫ナク自分知ル処ニ依レハ溝帮子、奉天間(不明)軌道ヲ八十五「ポンド」軌道ニ入替ノ計畫アル由ナルカ右旧軌道ノ利用方法ニ就テハ何等知ラス只タ現在溝帮子、奉天間ハ水害多キヲ以テ或ハ將來彰武、奉天間ヲ敷設スルヤモ知レサルカ何レニスルモ是等ハ一切省政府ノ關係スル処ニ非スシテ万事京奉線當局又ハ北京交通部ノ意向ナリ京奉線ニ對スル奉天側管理ノ如キモノ時的ニシテ之カ鐵道計畫迄ニハ参与シ居ラス將又東三省鐵道開發ハ日支共營ヲ意味シ日本側カ滿鐵限リノミニ依リテ抗議スヘカラサルモノナルヘシト述ヘタリ依テ京奉線經營

最近ノ狀況並現下北京政狀ニ顧ミ交通部乃至京奉線当局ト雖奉天側ノ事實上勢力下ニアルカ故ニ結局貴方ノ計画ト云フヘク又タ東三省開發ハ日本モ固ヨリ望ム所ナルカ之カ具體的個々ノ計画ニ付テハ自ラ彼我協定關係ヲ尊重スルコソ日支友好關係ヲ維持スル所以ナルヘシ仮ニ右計画貴見ノ如クナリトスルモ將來アル場合ニハ如何ト尋ネタルニ必要アラハ日本側トモ相談スヘキモ其場合ハ其場合ノコトナルヘシ兎ニ角現在ハ奉天省側ニ右計画ナク且又タ此種問題ハ自分専門外ニテ張作霖ノ意圖ニ依リ決スルモノ故自分ヨリ回答シ難シト述ヘタリ依テ本件ハ從來ノ經緯ニ鑑ミルモ今更貴下トシテ回答致シ難シトハ甚タ受取レサル次第ナルカ要スルニ帝國政府トシテハ飽迄貴方ニ抗議スヘキ筋合ト認メ居ルカ故ニ此点張將軍ヘモ切実ニ考慮ヲ促シ置カレタシト述ヘ前記公文ヲ手交シ辞去セリ

在支公使ヘ転電シ吉林ヘ暗送セリ

(欄外記入) 滿鉄ノ希望スル新台子、新邱間鐵道トノ關係
(付記)

昭和二年一月八日付在奉天蜂谷總領事代理ヨリ幣原外務大臣宛機密公第一一〇号

打通鐵道敷設計画ニ対スル張作霖宛抗議文写送付ノ件

敷設計画ハ現在ニ於テハ決シテ其計画無之旨貴答ニ接シ居リタル処最近当方知ル処ニテハ貴方ハ目下新立屯彰武迄ノ工事ヲ急キ近日中竣工ノ予定ニテ更ニ彰武白音太拉間工事ヲモ引続キ連接ノ為明年溝帮子奉天間ノ鉄軌入替工事ノ竣成ヲ俟チ其旧鉄軌ヲ以テ彰武以北敷設ニ着手スル計画アル趣ナルカ右果シテ事実ナリトセハ本件計画ハ当方ノ抗議ヲ全ク無視セルノミナラス前記貴信御回答ヲ裏切ルモノニ有之本件ハ再三当方ヨリ縷説ノ通我方トシテ到底黙認シ難キ処ニシテ曩ニ大正十五年十一月五日付公文第七三三号ヲ以テ重テ申進置タルカ今回帝國政府ヨリ更ニ嚴重電訓ノ次第アリ就テハ本件至急御取調ノ上現ニ着手中ノ工事並ニ今後ノ右計画ニ付テハ断然之カ停止方貴方關係当局ニ御嚴達相成度右ハ帝國政府ニ報告ノ要モアリ結果何分ノ儀至急御回報相煩度此段重ネテ照會得貴意候

敬具

一一〇六 (昭和元年)

十二月三十一日(着)

在奉天蜂谷總領事代理ヨリ
幣原外務大臣宛 (電報)

打通鐵道計画阻止ニ関スル今後ノ方針ニツキ

請訓ノ件

機密公第一一〇号

昭和二年一月八日

在奉天

總領事代理 領事 蜂谷 輝雄 (印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

打虎山白音太拉間鐵道敷設計画ニ対スル

抗議ノ件

本件ニ関シテハ大正十五年十二月二十八日付往電第三九〇号ヲ以テ報告致置タル処其際楊宇霆ニ手交セシ張作霖宛抗議文別紙写ノ通ナリ右報告申進ス

本信写送付先 在支公使、吉林總領事

(別紙)

公文第八六一号(写)

昭和元年十二月二十八日

在奉天

總領事代理 領事 蜂谷 輝雄

鎮威上將軍 張 作 霖 殿

拜啓陳者打虎山、白音太拉鐵道敷設計画ノ件ニ関シ大正十五年十月二十七日付政字第八号貴信ヲ以テ右兩地間ノ鐵道

第三九四号

往電第三九〇号ニ関シ

楊ハ我抗議ニ対シ滿州ニ於テ支那カ各地在住民ノ希望ニ依リ貧弱ナル資金ヲ以テ僅ノ鐵道布設計画ヲナサントスルニ対シ日本カ滿鉄ノ苦情ヲ聞キ直ニ抗議シ来タルハ滿鉄一線ノ為メニ日支提携ヲ阻害スルモノナル可シト不平ラシク述ヘタルヲ以テ前電ノ如ク然ル可ク応酬シ置キタルカ察スルニ近時当地方支那側ノ鐵道自主權熱旺盛ナル際本線及海吉線布設カ日支既存協定違反ニシテ我ニ抗議シ得ヘキ充分ノ根拠アリトスルモ右計画カ殊更惡意ノ協定違反ニ出テタルニ非ストセハ該計画カ我對滿政策上許シ難キ打撃アルニ依リ之カ阻止方断乎トシテ貫徹ヲ期スルカ若ハ適當ノ期ニ交換的条件ノ提議ニ依ル展開策ニ出テサル限り右抗議ハ帝國ノ威信ヲ傷ツクルト共ニ徒ニ滿鉄及我對滿鐵道政策ニ対スル反感ヲ助長スルニ終ル惧ナキヤニ感セラレタリ之等ノ点ハ夙ニ御考慮ノ事ト信シ且又本線カ果シテ如何ナル程度ニ滿鉄ヲ脅威スルヤハ滿鉄トシテモ具體的ニ調査シ居ル処ナル可キモ楊トノ会见ニ依ル印象御参考迄尙前電楊ノ言及在信機密第九一三三号ニ依ルモ彰武迄ハ略完成セリト存セラル

ル処右既設工事ニ対シ重ネテ抗議ノ要アラハ之カ抗議振御
回訓ヲ請フ

在支公使へ転電シ吉林へ暗送セリ

(6) 吉海鐵道關係

一一〇七 五月八日 在奉天吉田總領事ヨリ
幣原外務大臣宛

奉海・南滿兩線連絡會議不調ノ狀況ニ関スル

件

機密公第三五五号

(五月十三日接受)

大正十五年五月八日

在奉天

總領事 吉田 茂(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

奉海南滿兩線連絡會議不調ノ狀況ニ関ス

ル件

洮昂、四洮、南滿三線連絡會議不調ノ狀況ニ関シテハ既ニ
本年四月二日付機密公第二三七号並同月六日付機密公第二
五二号拙信ヲ以テ報告申進置キタル処今回滿鉄ハ更ニ奉海

線當業者トノ間ニ連絡輸送ノ協議ヲ開キタルカ協議事項中
連絡貨物積換場所ヲ奉海線奉天駅ニスルコト接続線ノ兩鉄
道管理境界線点ヲ南滿用地西側境界線ヲ以テスルコトナル
支那側主張ニ対シ滿鉄側ハ接続境界点ニ付テハ支那側主張
ヲ容ルルモ貨物積換場所ニ付テハ南行貨物ハ滿鉄奉天駅ニ
於テ北行貨物ハ奉海奉天駅ニ於テ積換スヘシトノ主張ヲ固
持シタル為協商遂ニ不調ニ終リタルカ右不調ニ終リタル經
緯ハ別紙ノ通りナル処滿鉄側トシテハ前記二項目ヲ除ク諸
案カ大体支那側トノ間ニ意見一致シタルヲ以テ近ク次期會
議ヲ開催スルノ意向ヲ有シヲレリ何等御参考迄此段報告申
進ス

本信写送付先 哈爾賓・吉林總領事、長春・齊齊哈爾・

鄭家屯各領事

(欄外記入) 滿鉄部内出身者好シテ斯ル外交交渉ヲ為シ失敗

ヲ重ヌル結果ハ会社ノ威信ヲ失墜スルナキヤヲ恐ル

(別紙)

奉海鐵路開通後ニ於ケル同鐵路ト南滿鐵道トノ連絡運輸施
行ノ必要ナルコトハ夙ニ我社ノ認ムル所ニシテ其ノ時期如
何ニ注意セラレ居タルニ京奉鐵路局山領技師長通報ニ依リ
同鐵路ハ大正十四年七月初旬起工セラレ爾來工程進捗シ其

ノ開通期モ案外早ク旧正月前ト予想セラレタルヲ以テ同年
八月二十五日鐵道部ニ於テ連絡要領ヲ決定シ社長ノ決裁ヲ
經庶務部ニ於テ連絡運輸交渉開始ノコトニ計畫セラレタリ
然ルニ其ノ後奉天ニ於テ佐藤奉天鐵道事務所長及奉海鐵路
局陳技師長ノ間ニ於テ之カ交渉ノ下打合セヲ為サシムルコ
トノ有利ナルヲ認メラレ同年十一月二十一日日本社鐵道部ニ
於テ先般社長決裁トナリタル連絡要領ヲ基礎トシ別ニ協約
事項ヲ協議決定シ佐藤所長ヲシテ直ニ陳技師長ニ対シ下打
合セヲ開始セシムルコトナレリ時恰モ張郭開戰ニ遭遇シ
其ノ期ヲ得ス越エテ大正十五年二月二日佐藤所長ハ奉海鉄
路局ニ陳技師長ヲ訪ヒ將來兩鐵道連絡運輸施行ノ必要ナル
ヲ説キ此ノ際之カ協議開始ヲ申入レタルニ対シ彼ハ直ニ贊
意ヲ表シ寧ロ彼ヨリ進ムテ至急接続線路ノ敷設ヲ希望シ之
ニ対スル打合セヲ為スコトニ同意セリ依テ翌々四日鐵道部
要路ノ参加ヲ得テ別紙連絡協約(c)案ヲ提案シ爾來會ヲ重ヌ
ルコト八回日ヲ經ルコト正ニ七十日ニ及ヒタルモ兩者間ニ
意見ノ一致ヲ見サル点アリ此ノ上會議ヲ繼續スルモ何等妥
協展開ノ模様ナク一時會議ヲ中止スルコトノ却テ將來有利
解決ノ見込アルコトヲ認メタルヲ以テ四月十二日第八回會

議ニ於テ本打合會議ヲ一時中止スルノ已ムナキニ至レリ今
會議ノ模様ヲ略述スレハ左ノ如シ

會議前半ニ於テハ連絡運輸ニ関シ無智ナル彼等ニ必要ナル
智識ヲ与ヘ協議ヲ容易ナラシメ其ノ後半ニ於テ漸ク當方ノ
提案ヲ了解セシムルヲ得提案大体ノ賛成ヲ得タルモ先方ハ
本連絡ヲ以テ自駅付屬ノ土地繁榮ノ具ニ供スルト共ニ其ノ
接続線路カ南滿本線ヲ乘越ユルモノアルヲ利用シ西方東北
大學工場トノ連絡線路敷設ヲ容易ナラシメムトシ前者ニ対
シテハ貨物積卸ノ全部ハ之ヲ奉海奉天駅ニテ施行スヘク計
画シ連絡貨物ノ如キモ同様奉海奉天駅ニテ積換ヲ為サムト
シ後者ニ対シテハ接続線ノ兩鐵道管理境界点ハ之ヲ南滿本
線ヲ西ニ越エタル南滿用地ノ西側境界線ヲ以テセムトセリ
之等二項ハ奉海側ノ重要ナル反對事項ニシテ南滿側トシテ
ハ同意シ難キ不都合ナル要項ナリトス

本反對事項ニ対シ當方ハ連絡運輸上不都合ナル点ヲ指摘シ
極力南滿提案ニ賛成ヲ求メタルモ必セサルヲ以テ妥協案ト
シテ連絡貨物積換ノ点ノミ讓歩シ南行貨物積換ハ南滿奉天
駅ニテ北行ハ奉海奉天站ニテ施行スヘク提案セルニ先方ハ
又反對ニ南行貨物ハ奉海奉天站ニテ北行ハ南滿奉天駅ニテ